

# 地域防災計画を見直し周知を図れ



三友美恵子



副町長

### 計画を見直し さまざまな可能性を探る

**質問** 災害時の避難場所などについて、当町と地続きである高崎・前橋・伊勢崎間で具体的な応援要請の話し合いはなされているか。

**答弁** 町長 協議されていない。今後協議していく。

**質問** 災害時において、避難に特に配慮しなければならぬ方々への対策はできているのか。

**答弁** 町長 避難行動要支援者名簿はあるが、避難についての個別計画については、今後検討する。

**質問** 来年度の避難訓練は、どのように考えているか。

**答弁** 町長 雨天時の実施も想定した訓練方法を検討する。

**質問** 防災知識の普及と地域防災計画の住民周知は、図られているのか。

**答弁** 町長 防災知識の普及は、広報紙や防災訓練等で実施している。地域防災計画



地域で自主防災を学ぶ

**質問** 一般住宅や工場の耐震化の状況はどうか。

**答弁** 町長 住宅の耐震化率は約77%である。今後も、耐震化に向けた取り組みを継続していく。工場の耐震化に町は取り組んでいない。企業者に委ねている。

**質問** 地域防災計画の見直しは、

**答弁** 町長 現状を見定め、関係機関と協議して進めていく。

こんな質問もしています  
・平成29年度施政方針について

**答弁** 副町長 県の防災計画が見直され、市町村も見直しをしている。コンパクトな冊子の配布等、さまざまな可能性を探りたい。

### 子どもの貧困対策を求む

**質問** 当町の「子どもの貧困」の状況と対策はどうか。

**答弁** 町長 群馬県の生活保護1600世帯で、平成19年の1.7倍である。当町でも貧困率が上がっていることは認識しており、支援策としてひとり親世帯への町独自の給付金・各種相談・無料学習支援・児童扶養手当受付事務などを行っている。

**答弁** 教育長 教育委員会には就学援助として奨学金・育英金などの制度があり、学校における学習支援も行っている。

# 「生涯活躍のまち」<sup>(※1)</sup> 構想の意義は



宇津木治宣



町長

### 東京圏の高齢化問題への 対応など

**質問** 「生涯活躍のまち構想」の意義は何か。

**答弁** 町長 一般的な意義としては、高齢者の希望の実現、地方への人の流れの推進、東京圏の高齢化問題への対応の3つが挙げられる。

**質問** シニア層の流入で、将来介護保険料の負担増になるのでは。

**答弁** 町長 玉村町版の構想では、それぞれの能力を發揮し、仕事・趣味・地域活動等に活躍してもらうもので、高齢で働けなくなった人を集めるイメージは持っていない。

**質問** 若者の移住支援に力を入れるべきでは。

**答弁** 町長 隣接する伊勢崎市や高崎市では、大規模な工業団地が整備されつつある。こうした雇用機会を生かし、若者やファミリー層の転入を促すことができるよう、構想の実施計画に盛り込んでいく。

### 中小企業者支援で活気あるまちに

**質問** 県は昨年、「小規模企業振興条例」を策定したが、町はどうか。

**答弁** 町長 小規模事業者が地域の活性化に寄与していることは十分認識している。既に制定済みの県や市の条例を参考に研究する。

### 「住宅リフォーム」制度の再開を

**質問** 「住宅リフォーム」制度の経済効果は。

**答弁** 町長 平成23年から26年まで実施した。1471件、12億円以上の工事が町内業者によって行われ、地域経済活性化に十分な成果があった。

**質問** 経済対策は引き続き必要であり、再開すべきだ。

**答弁** 町長 町の財政状況や町民ニーズを考慮しつつ検討したい。

### 子育て支援策を提案

**質問** 給食費を一部免除するなどの子育て支援策を当町でも進めているが、さらなる人口減対策として次の子育て支援策を提案する。①20歳までの高校生や学生への医療費助成の拡大②紙おむつ等育児用品購入助成③第3子以降に出生奨励金。

**答弁** 町長 医療費助成については、考えていない。育児用品購入補助、出産奨励金については、一定の広がりを見せているので財政状況を勘案しながら判断したい。



さらなる子育て支援を

※1「生涯活躍のまち」とは、国が掲げる、健康時から介護時まで継続的にケアを提供する共同体。